

「ヤママユ連・手づくりカフェ」・報告
～ ウコン(鮮やかな黄色)染め ～ 11月1日(土)10:00～12:00 於: 平和台集会場

11月初日快晴、絶好の染色日和。エプロンとゴム手袋を持って平和台集会場へ。ピカピカの大きなステンレスの鍋とボールが披露され、今回初使い。

ウコン(鬱金、宇金、郁金、玉金)は、香辛料、着色料、生薬として用いられるショウガ科ウコン属の多年草。な



んと今回、花の咲いたウコンとその地下茎が会場に飾られた。地下茎は生姜と同じ形をしていて、切り口の色は鮮やかな黄色。薄く切って味見をしたところ雑味苦味のあるカレー味でそのまま食用には無理そう。白い花びらを噛んでみると癖は無くほのかなウコンらしい香り、歯ざわりが良くサラダなどに使えそうな感じがする。ウコン染めは、和服を包むための布として一般的だが、昔は赤ちゃん用の衣類の布

にも使われていたそうである。

にも使われていたそうである。

染布は、木綿のハンカチやシルクの布などを輪ゴムや糸を使い絞り染めで柄をつける。布の端を直接縛って柄を作ったりと、皆さん自由におおらかに柄作りをしました。

染めの作業では、はじめに布をミョウバン媒染液に充分浸す。媒染剤が浸透したところでウコン液の中に入れ、均等に染まるように箸や Tongue で時々かき回し、お茶を飲むなどして待つことおよそ40分、鍋の中から布を取り出し、水で簡

単に洗う。絞りの輪ゴムや糸などを取り外し、再び洗い直すと、鮮やかな黄色の絞り染めの布が完成。乾くと多少色が薄くなりましたが愛らしい黄色の布が出来ました。

カフェ・メニュー： ヤブツル
アズキ羹、蕨餅、和三盆、
チコリコーヒー

(五月台 斎藤)

